

ペット防災チェックリスト

ペットのための備蓄品（持ち出し品）チェックリスト

- 5日分以上のペットフード、水
- 療法食、薬
- 食器
- ケージ、キャリーバッグ
- 予備の首輪、リード
- ペットシート
- トイレ用品
- 排泄物の処理用具
- ブラシなどのケア用品
- タオル・毛布
- おもちゃ・おやつ
- ガムテープ・マジックペン
- 飼い主の連絡先が記載されたもの
- 飼い主と動物と一緒に写っている写真
- ワクチン接種状況が分かるもの
- 持病や健康状態が分かるもの
- かかりつけの動物病院が分かるもの



災害への備えチェックリスト

- 富士見市防災ガイドブックなどを参考にして近くの避難所を複数確認しておく。
- 避難所までの経路を様々な災害を想定しながら、複数確認しておく。
- 家族での災害時の役割分担を決めておく。
- 上記の「ペットのための備蓄品（持ち出し品）チェックリスト」に従って、備蓄品を準備しておく。
- ペットに迷子札（犬は鑑札と狂犬病予防注射済票も）を付け、マイクロチップを入れておく。
- ペットに必要以上に吠えたり鳴かないようにしたり、決められた場所で排泄するなどのしつけをしておく。
- ペットの健康管理をしっかりとしておく。
- 自宅の耐震補強や家具の転倒防止措置など住まいを災害に対して強くしておく。
- 家族や知人、ペットの預け先等の緊急時の連絡先を確認しておく。

富士見市協働事業提案制度 平成29年度採択協働事業

「彩の国動物愛護推進員ちーむ富士見」 富士見市 発行：平成30年9月
問い合わせ：富士見市役所 自治振興部安心安全課 TEL:049-251-2711(内線446)

あなたと ペットの 災害対策



これまでも東日本大震災や、熊本地震、西日本豪雨など全国各地で大きな災害が発生してきました。災害はいつ起きるか分かりません。

災害が起こった際にペットを守れるのは飼い主だけです。

避難が必要な場合に家族とペットが安心して避難するためにも、日頃からの備えと心構えが大切です。

災害時はペットも一緒に避難してきます。ご理解とご協力をお願いします。



1 同行避難について

同行避難とは

災害が発生した場合、人間だけでなく、多くの飼育されているペットも被災することが想定されます。同行避難とは、災害時に飼い主が飼育しているペットを同行し、安全な場所まで避難することです。避難所では、飼い主は小学校の体育館などで生活しペットは、校庭等のスペースの一角などの屋外で生活することです。避難所内において、飼い主とペットが同一の空間で居住できること（同伴避難）を意味するものではありません。

避難所で受け入れ可能なペット

避難所で受け入れ可能なペットは、家庭動物のうち犬や猫など小型の哺乳類と鳥類などです。大型の動物や危険な動物、特別な管理が必要となる動物については、避難所での受け入れが困難であり、小型の哺乳類と鳥類などの動物も避難所の状況等により、受け入れができない場合があります。また、身体障害者補助犬法で定められた補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）については公共施設等での同伴が認められています。

